

## 科学の祭典・日立大会日立理科クラブの出展ブース

12月1日(日)、日立シビックセンター(マープルホール、新都市広場、ギャラリー、科学館)で行われた、第19回青少年のための科学の祭典・日立理科クラブ関連の出展ブースの活動をお知らせします。日立理科クラブでは、「ふしぎなコップモータをつくろう」「科学の楽しさ一日体験」「レーシングカー走行体験」の3つのブースです。科学の祭典全体の来場者数は、4,124人で昨年を上回っています。

「ふしぎなコップモータをつくろう」では、準備した実験教具を一つ一つ丁寧に、来場者の子どもたちと一緒に、その原理を説明しながら組み立てていきます。子どもたちは、自分の作ったコップがくるくると回り出すと、「すごい！」と声を出しながら笑顔があふれていました。

「科学の楽しさ一日体験」では、日立理科クラブの「理数アカデミー」の活動をコンパクトに紹介した展示です。(1)教材コーナー (2)自由研究コーナーの2部門で、理科や算数・数学の「手作り授業」の教材や「自由研究」の成果が展示されていました。来場者の皆さんは、日立理科クラブの講師や理数アカデミーの受講生と一緒に科学の楽しさ・不思議さを満喫していました。

理数アカデミー「自由研究コース」受講生の、県展で入賞した4つの作品を紹介します。



我が家のテラスの植物工場モデル Part2 -植物のヒゲとツルの巻き方、パネの形成を観察する-	前野 蒼衣 (茨城中1年)	茨城県教育研究会長賞
我が家の床の間の植物工場モデル(Part1) -CO <sub>2</sub> 添加と植物成長促進効果の観察-	笹俣 俊洋 (田尻小6年)	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館長賞
光および音波が植物育成に与える有効性の研究 -連続周波数音は単一周波数音の組み合わせより有効-	信田 峻大朗 (茗溪中3年)	茨城県教育研究会長賞
カブトムシの研究 6 ~音楽とカブトムシの成長の関係について~	緑川 陽翔 (大沼小6年)	げんでん財団科学賞

「レーシングカー走行体験」は、今回初出展のブースです。電池とモーターで走るレーシングカーを子どもたちが自分で組み立てていきます。レーシングカーのキッドは50台分用意したのですが、人気が高く予定時間内早々に終了してしまいました。組み立てたレーシングカーを全周長25mの8の字の形状のサーキット内で走らせます。子どもたちは、スピードをあげて走っていく自分の車を、真剣な表情で見えています。日立理科クラブの担当の皆さんも、子どもたちと一緒に楽しんでいました。

牛久市在住の「小さな鳥の資料館」から本物の鷹とハヤブサが初出展され、新都市広場で、鳥の飛翔が見られました。ハヤブサの低空飛行の旋回は、とても迫力があり、新都市広場にいた鳩たちは、一斉に姿を見せなくなりました。自然の食物連鎖をまざまざと感じる瞬間でした。

天気も良く、来場者の皆さん、出展者の皆さんが一緒になって科学の楽しさを味わった一日になったと思います。元気に楽しんだ子どもたち、芽生えた小さな小さな『科学の種』の成長を期待したいです。



